

発行所 (郵便番号100)  
東京都千代田区丸の内2-4-1  
丸の内ビルディング781号室  
社団法人スウェーデン社会研究所  
Tel (212) 4007・1447  
編集責任者 中嶋博  
印刷所 関東図書株式会社  
定価200円 (年間購読料参千円)  
1986年9月25日発行  
第18巻 第9号  
(毎月1回25日発行)  
昭和44年12月23日第3種郵便物認可

# スウェーデン社会研究月報

Bulletin Vol. 18 No. 9

Japanska Institutet För Svensk Samhällsforskning  
(The Japanese Institute for Social Studies on Sweden)  
Marunouchi-Bldg., No. 781. Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan

## スウェーデンと国際政治

Sweden and International Politics

顧問 三宅喜二郎  
Mr. Kijiro Miyake, Adviser.

周知の通り、スウェーデンは約170年間も平和政策を堅持して、自から戦争を起こさなかったし、また、他国間の戦争に巻き込まれもしなかった。そのことについては、スウェーデンの地政学的地位や国際政治・経済・軍事的環境も大いに関係があるが、スウェーデン人自身の英智と強い意思と努力とが不可欠の要素になっていることもろんである。

さらに注目すべき点は、スウェーデンの対外政策は、世界平和についても、自国の中立維持についても、ただ手を拱いて外界の動きを傍観する消極的なものではなく、また、自国民だけが安穏で仕合せであれば、他国民の状態がどうであってもよいと考えるような自己中心主義的なものでないことである。自国の安全は先ず自からの手で守ることに努め、自国民の仕合せは先ず自分たちの努力によって得ようとする心構えをもつと同時に、それらが実際的にも、また理念上・道義上も、世界全体の平和と世界全般の人びとの幸福と無関係でないことをよく達観し、世界平和維持、国連協力、軍縮の推進、発展途上国援助等のために積極的な努力と建設的な貢献をしている。

他方、米・ソは、超大国として国際的政治・経済・道義に対し負っている特別の責任を果しているであろうか。

米国は、第二次大戦末期に、たとえ戦争の早期終結を図るためにはあったとしても、原爆を広島・長崎に落して多数の無辜の人びとを殺傷し、また、ソ連に要請して対日参戦させるという過ち

をおかした。しかも、戦後には、米ソ冷戦となり、かつ、ソ連等も原爆を開発・保有するに至った。米国は、建国以後約170年間は、その本土を他国により攻撃される心配は無かったのに、米・ソ核軍拡競争の結果、その安全につき安閑としてはおられなくなり、今や宇宙の軍事化へまでも進まんとしつつある。

ソ連は、ツアーの圧政による人民の困苦という特殊の事情の下で達成した共産革命等を他国へも押し広めることを企図してきた。そういうことをしなければ、外国から攻撃されたりする心配は何も無く、従って、西側との軍拡競争などもする必要も無い筈である。

米・ソの誤った超大国意識と世界政策等をここで一新しない限り、安心のできる世界平和は確立されず、また、自国自身はもとより世界全般の経済と民生をも圧迫し続けるであろう。スウェーデン、スイスを先頭とし、日、英、仏、独、印等の諸国が率直な忠言を以って強く米・ソに働きかけることを切望する。

### 目次

スウェーデンと国際政治……………三宅喜二郎… 1
(北欧幼児保育調査視察団報告)
北欧の幼児保育の現状……………荒井 洌… 2
小さいうちから美しいものを見せ
ることの大切さ……………北川 正子… 4
性教育の絵本を見る……………佐々木和子… 4
きょうだいグループに共感する…下田 典子… 4
ユニーク探しの旅……………鈴木美也子… 5
SIPニュース

# 北欧幼児保育調査視察団報告

Report on "Pre-schooling Study Group"  
Sent to Sweden, Norway and Finland

## 北欧の幼児保育の現状

北欧幼児保育調査視察団々長 荒井 洸  
The Group Leader, Mr. Kiyoshi Arai

### ○プロローグ

スウェーデン社会研究所の第10回めの視察団派遣として、この7月、スウェーデン、ノルウェー、フィンランドの幼児保育の現状の視察が行なわれた。参加メンバーは、保育現場で働く人たちを中心に20名であった。

北欧3か国のわれわれ視察団に対する受け入れは、極めて丁寧であり、用意万端、実にきちんとしたものであった。ということは、準備段階において関係各位によって、なみなみならぬ努力が払われたことを意味している。スウェーデン社会研究所のスタッフの方々の御努力については言うに及ばず、関係国の駐日大使館、本国政府の外務、および幼児保育関係部局の諸氏、さらには実際の視察の場面で協力を惜しまれなかった保育現場の方々に対し、ここで改めて厚く御礼申し上げる次第である。

### ○担当部局の責任者によるオープンなレクチャー

訪問国の丁寧な受け入れの中でも、特にわれわれが恐縮したことは、各国とも担当部局の中での



ノルウェーでのレクチャー

中央は家庭局長 Bodil Finsveen  
女史、左端は筆者

最高レベルの方々によって総轄的なレクチャーが行なわれたことであった。ノルウェー、フィンランドでは中央官庁の担当局長が、スウェーデンで

はストックホルム・コミュニンの保育指導面の責任者の方が、直接説明に当たってくれた。

訪問した3国とも、やはりそれぞれに、量的、および質的課題を抱えていることは推察できたのだが、レクチャーを受けての印象は、問題点がとても分かりやすいということである。すなわち、プラス面あるいはマイナス面が明瞭に理解されるのである。それはなぜかと考えてみると、いずれの国も就学前保育の問題は「家庭福祉」の理念のもとにとらえられ、主管官庁は、日本の厚生省に該当するところに一轄されているためではないかと思われるのである。

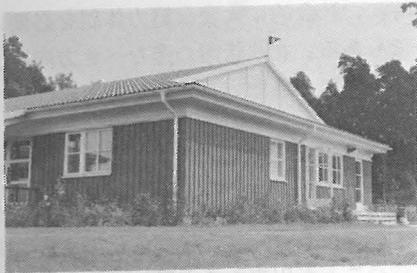
いずれの国も、量的な面において、未だ十分に満たされた状態にまでは至っていないようであったが、保育現場1つ1つの内容については、かなりの厚みを感じ取ることができた。中味を維持しての、量的な面での今後の確実な伸びが期待されるのである。

### ○雰囲気のある園舎

最近では、日本でも随分と立派な園舎の保育園が見られるようになった。2階建てのコンクリート建築が多く、機械設備も十分に備えられ、食事はリフトで上げ下げされている。暖房は床暖房だし、視聴覚機器も見事にそろっている。しかし、何と言おうか、なぜかしっかりとするものに欠けているようではない。

北欧の保育園を巡り歩いての印象は、園舎そのものが、わが国のそれとは大きく異なった考え方によって設計されているということである。ひとこと言えば、日常生活のいとなみの場といった風の設計になっている。

まずは、最近に建てられた、ノルウェーの標準的な保育園がそうであった。外観は何の変哲もない木造りの園舎だが、一歩中に入ると、静かな、



落ち着いたたたずまいの園舎  
——スウェーデンの保育園

落ち着いた雰囲気の高勢さが感じられる。寝る部屋、食べる部屋、遊ぶ部屋、はては冬季に靴を脱ぐ部屋、着替える部屋、という具合に小部屋が続いている。

子どもが生活する場としての保育園とはいかにあるべきか、このことと園舎、園庭などの実際の作り方は見事に連動しているのである。

スウェーデンの、緑豊かな、ゆったりとした園庭の取り方はうらやましい限りである。周囲には、自然林の木立ちが静かに残されている。“Kinder Garten”の言葉の響きが思い起こされるのである。

保育園とは違うが、ストックホルムの各所に確保されているプレイグラウンド——言うならば、子どもたちが文字通り自由に遊び回れる緑の空間——は、何とも言いようのないほどのぜいたくぶりである。われわれとしては、狭い国土の故にこそ、より知恵を使うべき問題なのだと思う。子どもたちの若々しいエネルギーを、一体どこで発揮させたらよいのかという切実な問題である。広い面積を有する地方の自治体に、まずは期待したいことがらである。

#### ○昼間のファミリー

北欧の保育園は、どこへ行ってもおおむね日本で言う「たてわり保育」である。もっとも、あちらではより自然的な表現である「きょうだいグループ」という呼び方をしている。すなわち、年齢別のグループ編成をしていないということである。

何人かの子どもと何人かの保育者がファミリーのような雰囲気生活するのである。「アット・ホーム」とは単なる形容詞として用いられるのではなく、具体的な形で生かされ、生活が営まれているのである。先生、お兄ちゃん、お姉ちゃん、ぼく、わたし、おとうと、いもうと、といったファミリーとしての生活が存在するのである。

このような生活の仕方は、保育園のイメージを



先生と女の子  
——ノルウェーの保育園

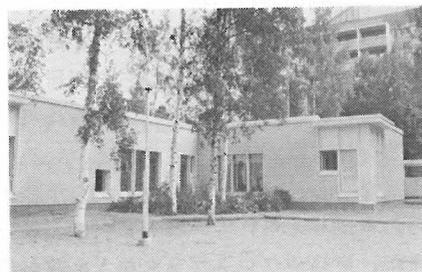
それらしいものになっている。食事の準備、後片付け、掃除、庭仕事、等々といった、いわゆる日常生活の雑事が、保育内容の中で大きな位置を占めるようになるのである。例の「六領域」の再検討の時期にあるわれわれとしては、このことは大いに注目したいことだと思ふのだが、いかがであろうか。

#### ○家庭福祉における保育所の位置

わが国は現在、「保育の時代」と言ってもよいほどに、保育所は社会的に大きな役割を果たすようになってきた。そしてまた、今後はますます多くの角度からの期待を集めようとしている。このことを突き詰めていくと、あたかも子育てというものゝが保育所の一手専売となるやも知れぬような勢いである。

では、このような点についての、福祉の先達である北欧諸国の傾向はどうであろうか。

フィンランドの保育関係の責任者のコメントは、育児ないし保育のあり方について、極めて明解なものであった。それは、家庭に子どもが誕生した場合、家庭における育児が十分になされるよう、



さわやかな園舎  
——フィンランドの保育園

出産休暇等の雇用条件、および育児手当等で、出来る限りの努力をし、そして次にこれをカバーするものとして保育施設を活用するという考え方である。つまり、乳飲み子は家庭でゆったりと慈しむ、このことを社会的ないろいろな角度からの努力で確保し、その後、幼児保育の場で幼児期を過ぎせよという考え方である。

考えてみれば、これは実に単純な発想ではあるが、よくよく検討すべき価値のある考え方であり、

と同時に、社会的に大変な協力体制を必要とするものでもある。北欧諸国の進むべき方向は、よくよく注目していきたいと思うのである。

#### ○エピローグ

3か国の訪問は、充実はしていたが、やはり忙しかった。はっきりとしたテーマを持ち、ゆっくりと、かつ、じっくりと視察する機会を、あらためて持つことが出来たらと願っている。

(※写真撮影は、団員の方々の協力を得ました。)

## 小さいうちから美しいものを見せることの大切さ

名古屋市東山保育園 保母 北川正子

今回、北欧幼児保育調査視察団に参加したのは、スウェーデンなど、福祉国家の保育所は一体どんなものなのだろうか？家庭的であるらしいが、一度この目で見てみたいと思い参加しました。

訪れた所はどこも子どもが遊びやすく、過しやすい部屋に分かれており、家庭にいるようで、日本と発想がまるで違うと感じました。ままごとをする部屋もあり、生活がそのまま模倣できるように、おもちゃも整っており、子どもたちが喜んで遊び込める姿が目に見えてきました。

子どもが安定して過ごすための人数も適切であり、保育者の数も満たされており、私もこんな所で保育が出来たら楽しいだろうな、日本の子どもたちも喜ぶだろうな、と感じました。

ところで、日本車、日本製品をいたるところで目にし、こんなに遠い国々まで入り込んできている経済大国の日本なのに、福祉の面では雲泥の差があることが悲しくなりました。

今回の視察では、保育者としての心構えについても勉強になりました。おだやかな接し方、手づくりの真心の大切さ、またインテリアも素晴らしく、子どもだからいい加減にするのではなく、小さいうちから美しいものを見せることの大切さを感じました。

いろいろなことを感じた視察旅行でしたが、私も保育者であるので、自分の出来ることから始めていこうと痛感しています。

## 性教育の絵本を見る

株式会社パルジニア 社長 佐々木和子

私はどこの国を旅行しても、本屋を捜して入ってしまうくせがあります。めざすは絵本売り場。私にとっての外国旅行中の楽しみの一つです。

ところで今回の旅行の折、ストックホルムで入ったいくつかの書店で、子どものための性教育の絵本が目につきました。そのうちの何冊かを手に取ってみると、ほとんどが絵で占められているもの、あるいは文章が入ったものなど、いろいろとありましたから、かなり幼いうちから年齢相応にこれらの本が与えられているらしいことが分ります。また、童話やワークブックなどと並べて置いてある様子から、**性教育**などと大げさに叫んでいるのではなく、子どものころに接する絵本の

一つのジャンルになっているのでしょう。ここまです消化してしまっていることに少々の驚きを感じました。

福祉や教育の面で一つのモデルといわれている北欧の国々が、今や、熟した社会が抱える種々の問題にぶつかっているとされます。つまり、モデルとしての疑問も出されています。しかし、たとえば性教育のことについて言うならば、日本のそれが進んでいるか遅れているかはともかく、しばらくは北欧のこれまでの進め方と、これからの様子をよく見てみることは、決して無駄なことではないように思われます。

## きょうだいグループに共感する

川越市・下田保育園 園長 下田典子

スウェーデンの保育所は、庭が広いし、部屋も1クラスごとに、プレイルーム、食事の部屋、午睡の部屋など、少なくとも3部屋ずつはあるようでした。

森の国らしく、大きなノコギリやカンナのある工作室もあります。

プレイルームは、素敵なセンスのインテリアで飾られていました。窓ぎわには花や観葉植物の鉢が置かれ、カーテン掛けにも工夫が凝らしてあり

ました。知的にかなり進んだ教材も、何気なく白木の棚に置いてあります。

2歳半から7歳までの「きょうだいグループ」が家庭的な雰囲気の中で過していることには、共感と喜びを感じました。

多くの示唆を受けて、スウェーデンのからりと晴れた青空のような気分で過すことのできた、素晴らしい視察の旅でした。

## ユニーク探しの旅

千葉県富山町・白鳩保育園 園長 鈴木美也子

北欧の保育所は、どこまでも家庭での教育を補助する立場にたち、子どもが自立心をもって自分の行動をとり、生きていけるよう手伝いをすることに一貫した方針があるように感じられた。

また、受持ち人数の少なさに私たちは羨望するのであるが、これは言葉の違う子どもたちが集まることにも由来するのではないかと思われた。ヘルシンキの施設で聞いたところによると、七つの異なる母国語を持つ子どもが集まるということであった。

保育内容の中には、「今日1日はイヌになりなさい」とか、トラになるとかいう遊びがあって、1日中動物になって暮らす遊びが子どもの1番喜ぶ遊びだそう。1日中変身とは、何とユニークな遊びだろうと思った。

また、子どもの高さになれる、保育者用のユニークな椅子があった。ゆったりとソフトな、ビロードのような布製で、おしりを高くして日本式に座れるようにできていた。保育者はじっくりこの

椅子に座って、言葉の障害を乗り越えて、子どもとのコミュニケーションに励むのであろうかと想像した。

ストックホルムのプレイグラウンドは、誰にでも公開している、果しなく続くグラウンドである。デモクラシーをモットーとし、子ども2人と、大人7人の委員が、運営上の決定権を持っているとのことであった。子どもが作る板切れの大きな迷路の作りかけがあり、林には枝の上に、板を組み立てて遊べるようにしたり、遠くヤギが鳴いたりして、さわやかな緑の風が広い芝生の上を吹いていた。

ヘルシンキでは、昼食の出る公園へ行った。不特定多数の人たちに昼食が出されるのを見た。器は各自持ってくるらしいが、シチューのようなものが配られていた。

旅の間中、大勢のみなさまに御親切に仲良くしていただいていた楽しい旅ができたことを深く感謝申しあげたい。

### 《SIP ニュース》

#### スウェーデン、人種差別オンブズマンを任命

先頃国会を通過した新法に則して新設された役職であるスウェーデン初の人種差別オンブズマンに、ペーテル・ノベール博士(Dr. Peter Nobel=法学博士)が任命された。DO(人種差別オンブズマン)は議会委員会が援助することになっている。

新オンブズマンは、当局、雇用户、諸団体と協力して差別に反対する策を講ずると同時に被差別人種がいかにして彼らの権利をまもるかといったようなアドバイスを個人に与えることを職務とするもので

ある。労働市場の状況に特に注意が向けられる見込みであるが、オンブズマンの最も重要な任務の一つは雇用における差別を防止することとなるであろう。雇用者は、今後、DOとの交渉に参加して、重要な情報を提供することを義務づけられる。

人種差別撤廃のための議会委員会はオンブズマンに重要な原則事項に関しての忠告を与えるとともに、法改正の提案や差別撤廃のためのその他の政策提言を行なっていく予定である。

ノベール博士は、移民及び難民問題の専門家で、この分野に関する数冊の著書や記事をもっている。かれは、また、人権擁護のための数々の国際機構で活動していると同時にスウェーデンからの国外退去におびやかされている多数の移民のための弁護士も勤めている。

#### 公式支持政党調査の結果は、社会主義政党リード

中央統計局によって半年ごとに行なわれる支持政党調査の結果、次のとおり。

社民及び共産党の得票率 50.5~51.5%      非社民政党の得票率 45.0~46.5%

なお、これは5月にスウェーデンで選挙が行なわれたことを想定して、無作為に9,000人の有権者を抽出して行なった調査を基にして算出された結果である。

此の度の結果はシーフォ(Sifo)研究所が行なった同様の世論調査の結果とほとんど一致しており、昨年11月に行なわれた調査に比して、社会主義陣営は1.3~2.8%の増加、非社会主義陣営は1.5~3.0%の減少であった。

5月の調査時の各政党別得票率は次の通り。

社民党 46.4%	保守党 18.8%	自由党 16.7%
中央党 10.3%	共産党 4.3%	キリスト民主党を含む他政党 3.5%

#### 政府、スウェーデン農民に、チェルノブイリ原発事故の損失を補償

スウェーデンの農業相スヴァンテ・ルンドクビスト(Svante Lundkvist)によると、政府はスウェーデンの農民並びに市場向け園芸家に対し、ソ連のチェルノブイリ原発事故が原因の放射能汚染による経済的損失を十分に補償することを決定したという。暫定措置として、政府は2,500万クローナ(邦価約6億円)の即時支払いを決定したが、その対象となるのは、例えば牧草に許容限度を越えるセシウムが含まれているために乳牛を戸内につないでおくことを余儀なくされている農家である。政府はまた、原発事故のスウェーデンにおける有害な結果を抑制するのに必要なあらゆる公の措置を調整するための委員会を任命した。

#### 原子力の安全性と情報に関して北欧諸国が共同声明

此の程、北欧各国の政府が、チェルノブイリ原発事故に端を発する討議を基に、原子力事故関連の安全性と情報に関する共同声明を発表した。その骨子、次の通り。

原子力の使用に関連した、また事故の際の安全措置に関する、可能な限り多くの国が参加した多国間協約を結ぶ努力がなされねばならない。

この作業の一端として、各国政府は、まず初めに、原子力施設の設計、施工、操業、保守における最高の規準を供給するIAEA(国際原子力機関)による、規準並びに指針の制定を実現させる予定である。

さらに、政府としては、情報の即時公告及び交換、事故や危機の際の協力、事故にひき続く分析と査定の改善に関する協定締結に向けて努力してゆく所存である。

北欧諸国はまた、特別協定や情報の交換の増大によって、原子力の分野の既存の北欧の協力を補足する必要性を調査する予定であり、そうすれば、バルト海や北海地域の全ての国を含むようにこの協力の輪を拡張することが適正であると証明されよう。

また、原子力の安全性や放射線防護関係の機関以外に、環境及び健康関係の機関も、審議に積極的に加わるべきである。